

さくらの季節。そして新緑の美しい季節。アーバンファームのバルコニーでは壁面が優しいグリーンで覆われ始めています。植物と同じように私たちも気持ちのリセットを意識する時期。これから新しいことを始めようと思われる方、植物はどうでしょう。まず種まきから始めてみませんか？

ジャボチカバ師匠

2Fで育つジャボチカバ。とても変わった果樹です。今回はこの果樹がくれた不思議なお縁のお話。ジャボチカバは幹に直接花が咲き、そこに実が付きまゝ。味はドウとライチに似ていて香りも豊か。ブラジルやカリブ海諸国での栽培が盛んで日本では沖縄で主に栽培されているそうです。そんな変わった果樹を室内で育成できないか？ 苗探しの旅が始まりました。そして出会ったのが西川農園さんです。静岡でジャボチカバ農園を運営されている西川さんは、最初にコンタクトを取らせて頂いた時からとても熱意のある方で、ジャボチカバへの想いが電話口からひしひしと伝わってきました。しかし、前例のない人工光での育成。今回の挑戦は結実までに時間がかかりました。液肥を調整し、照度を上げる工夫やこの樹ならではの剪定をして、ようやく先月！皆さんに結実した実を見て頂くことができました。実はこれも西川さんがアーバンファームに来てアドバイスしてくださったおかげなのです。現在、ジャボチカバ師匠と呼ばせて頂き、頼りにさせてもらっている西川さん。このようにたくさんの方々とのご縁とお気持ちに支えられてアーバンファームが成り立っていることを実感しています。(松本)

西川農園さんのブログ <http://mgarden2.exblog.jp/>



『THEジャボチカバ』こんな姿を目指しています！



2/12梅のような花が咲く



3/27緑色の実が赤黒くなって完熟

アーバンファームのお散歩コース



しゃがんでのぞきこんだら何が見えた？

社内保育園では毎日お散歩で館内をまわっています。主なコースの1階と2階で園児の皆さんが植物に夢中になっている姿は私たちに笑顔と元気をあたえてくれます。特に2階のエディブルガーデン前では結実した唐辛子やパプリカ、コールラビに興味津々！！植物の名前を知りたくて管理スタッフに直接聞いてくることもあります。また1階水上ステージの鯉にゴハンをあげてくれることも。アーバンファームの植物に接する機会を多く持っているのが社内保育園の大きな特徴でもあります。こういう経験から植物を好きになってくれたら嬉しいですね。(立花)

BESTSHOT

キンギョソウ開花ラッシュ！

2Fエレベーター前の生育スペース。以前までは野菜を育てていましたが、現在はキンギョソウというお花を育てています。ピンクや黄色、赤紫など濃淡織り交ぜたお花が咲き乱れる様子はまさに癒しの光景。エレベーターを待つちょっとした時間に是非ご覧ください！(岩脇)



『ファミツ』

古来、藤は長寿で繁殖力が強く、美しい花を咲かせる縁起がよい植物で、多くの家で家紋として使用されてきました。藤の家紋が代表的なのが、藤原氏です。藤原氏は初代鎌足や道長など歴史上有名な人物を排出してきた名門の一族です。加藤・後藤・佐藤など藤がつく苗字は藤原氏と親戚関係を結んだ家といわれています。バルコニーの藤もちょうど見頃。ぜひご覧ください。(立花)

About
植物
TO
家紋

パソナ農援隊の新しい就職支援！検索ワードは「パソナチャレンジファーム」
<http://www.pasona-nouentai.co.jp/index.html> WEBショップ開設！！

パソナチャレンジファーム

検索

パソナチャレンジファーム募集のお知らせ

2008年に淡路島でスタートした独立就農支援「パソナチャレンジファーム」は、今年で5年目を迎えます。今回パソナチャレンジファームでは、2013年度新規メンバーの募集を開始致しました。チャレンジファームは、本格的に農業分野で独立を目指す人たちにチャレンジの場を提供する農業のベンチャー支援制度です。農業に従事しながら、栽培技術だけではなく農業経営や地域の活性化などを学び、地域の農業者の皆さんと共に次世代の農業の可能性を追求していきます。これまでチャレンジファームに参加したメンバーは、生産だけでなく営業・販売・企画・加工等に携わり、多くのメンバーが農業経営者として独立していきました。独立就農を目指す意欲のある農業人のあなた！兵庫県淡路島、または栃木県芳賀町で独立就農を目指しませんか？～募集要項・応募用紙についてはHPをご確認ください～(安芸)
URL：<http://www.pasona-nouentai.co.jp/>



チャレンジファーム淡路から

ご意見・ご感想・見学予約はこちらまで
株式会社パソナ農援隊

〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4

E-mail: info@pasona-nouentai.co.jp

TEL: 03-6734-1260 / FAX: 03-6734-1269

見学時間: 9:00 - 17:30 (土日祝祭日、年末年始を除く)

パソナグループ社員Meetsアーバンファーム

今月からパソナ農援隊アーバンファーム事業部のメンバーが記者となり、アーバンファームと関わりのある社員の方々の紹介とそのつながりをクローズアップしていきます。



今月の記者
北澤智博
植栽担当箇所
水耕栽培(葉菜)
バルコニー
プロフィール
アーバンファーム
新聞2012年8月号
<http://urx.nu/3KKI>

料理人



パソナグループ 総務部 高畑 正夫さん

料理人として25年間もの間、パソナの厨房を見守り続けている高畑さん。アーバンファームで収穫された野菜は高畑さんのいる厨房に出荷され、調理場の皆さんの手を経てパソナ社員の元へと運ばれています。

- Q. アーバンファームとの関わりは？
A. ランチなどでアーバンファームの野菜を調理し提供している。
Q. 野菜提供をした際のお客様の感想は？
A. 水耕栽培のレタスはやわらかくて、おいしいという声が多い。ロマネスコは甘みがあるって意見が多かった。
Q. 前施設パソナO2(*注)との違いは？
A. 収穫される品目が増えたこと。アーバンファーム1階では、受付天井のキュウリ、畑のロマネスコ、大根、トウモロコシなどがシーズンに関係なく収穫される。それから2階の豆苗などスプラウトも収穫できる。O2に比べて厨房に来る品目が増えたことが大きな違いかな。 *注 パソナO2(オーツ) 2005年-2009年 運営していた就農支援施設

アーバンファームの野菜をパソナグループ社員の皆さんに提供する際、懸け橋となってくださっている料理人、高畑さん。ご協力頂きありがとうございました。来月は、どんな繋がりをもつ社員の方が登場するのか乞うご期待！